

地域包括支援センター 三吉町南たより

令和5年夏号

【認知症とは——】

認知症は、脳の病気や障害などさまざまな原因により、認知機能が低下し、日常生活全般に支障が出てくる状態をいいます。仕事や生活で普段やっていたことができなくなる、慣れた道で迷う、話が通じなくなる、憂うつ・不安になる、気力がなくなる、妄想があるなどのサインに注意が必要です。

こんなケースは認知症かも？



失行・失認・失語



暴力・暴言・サポート拒否



せん妄（錯乱・幻覚）

●失行・失認・失語

普段の何気ない行動が意識するとできなくなります。財布を出してお金を払ったり、箸やスプーンの使い方がわからなくなることも

●暴力・暴言・サポート拒否

考えの通りにならないことへの不満や、介護者からの命令や制止への対抗から暴言をはいたり介護やサポートを拒否することがあります

●せん妄（錯乱・幻覚）

意識障害が起こり頭が錯乱した状態です。幻覚を見たり、興奮して大声を出す場合も。夜になると出る「夜間せん妄」もあります

認知症への対応 7つのポイント



①一定の距離を保って見守る

認知症の人に気づいたら、さりげなく、まずは様子を見守ることが大切です。近づきすぎたりジロジロ見るのは禁物

②声掛けは大人数でなく1人で

認知症の人は、複数人で取り囲まれると恐怖を感じてしまうことも。できるだけ1人で声をかけましょう

③目線を合わせて優しい口調で

目線を合わせ優しい口調で対応しましょう。小柄な場合は、姿勢を低くして目線の高さを合わせると良いです

④穏やかに、はっきりと話す

耳の聞こえにくい人も多いので、話すときはゆっくり、はっきりと。早口、大声、まくしたてるのは逆効果

認知症の人は強い不安を感じています。目線を合わせ優しい対応が大切です

⑤後ろから突然声を掛けない

背後などからの唐突な声掛けは禁物です。相手の視野に入ってから「お困りですか？」などと呼びかけて

⑥相手の言葉に耳を傾け、ゆっくり対応

認知症の人は急かされたり、同時に複数の質問をされるのが苦手です。相手の反応を見ながら会話しましょう

⑦心に余裕を持って対応する

こちらが困惑や焦りを感じていると、相手にそれが伝わりかえって動揺させることに。落ち着いて笑顔で対応しましょう。もし相手が怒りだすなど反発した時は、止めようとすると余計に興奮することもある。その場合は離れて見守ります



困っているように見えても、背後から唐突な声掛けは恐怖心をあおるのでNG

引用サイト：日本赤十字社「もしも、認知症の方と街で出会ったら」
https://www.jrc.or.jp/about/publication/news/20220603_026321.html

地域包括支援センター三吉町には、認知症地域支援推進員が所属しています。認知症に関してお困り事や知りたいことなどがございましたら、お気軽にお問い合わせください。

福山市地域包括支援センター三吉町南 084-927-9039